

新規事業採択時評価結果（平成21年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

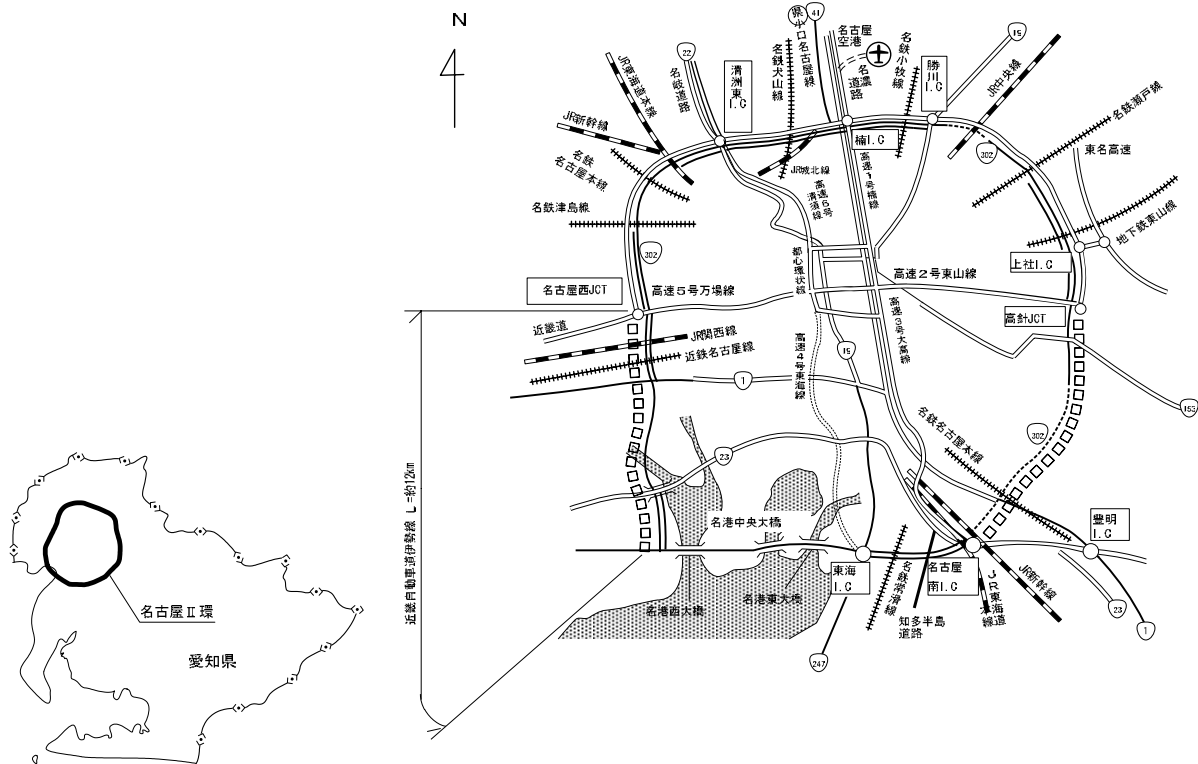
事業名	<small>きんきじどうしゃどういせせん</small> 近畿自動車道伊勢線 <small>なごやかんじょうごうせん なごやにし とびしま</small> 名古屋環状2号線（名古屋西～飛鳥）		事業区分	高速自動車国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	<small>あいちけん なごやしなかがわくしまいちよう</small> 自：愛知県名古屋市中川区島井町 <small>あいちけんあまぐんとびしまむらき ぼいちちようめ</small> 至：愛知県海部郡飛鳥村木場一丁目			延長	12 km	
事業概要 名古屋環状2号線は、名古屋市街部の外縁を形成する総延長66kmの環状道路で、市内から放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路と主要地点で連絡し、都市内の渋滞を緩和することなどを目的に計画された幹線道路であり、自動車専用道路と一般国道（一般国道302号）の複断面により構成されており、現在までに約41kmを供用中である。 当区間（名古屋西～飛鳥）の自動車専用道路部は、昭和57年度に都市計画変更がなされ、第32回国土開発幹線自動車道建設審議会（H11.12）の議を経て基本計画が策定、また第4回国土開発幹線自動車道建設会議（H21.4）の議を経て整備計画が策定された。						
事業の目的、必要性 名古屋環状2号線は、東海環状自動車道とともに名古屋圏の環状道路を形成し、名古屋都心部に集中する交通の適切な分散導入を図るとともに、都心部に起終点を持たない交通をバイパスする。特定重要港湾名古屋港（スーパー中枢港湾）、並びに国際拠点である中部国際空港へのアクセス強化による国際競争力の強化、国道302号の通過交通の削減、安全性の向上などに寄与するものである。						
全体事業費	1,350億円		計画交通量	21,100～28,300台/日		
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	1.9	1,322億円 （事業費：1,102億円 維持管理費：221億円）	2,568億円 （走行時間短縮便益：2,101億円 走行経費減少便益：379億円 交通事故減少便益：88億円）	平成21年		
感度分析の結果 交通量変動：B/C=3.1（交通量+10%） B/C=1.5（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.8（事業費+10%） B/C=2.1（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=1.8（事業期間+20%） B/C=2.1（事業期間-20%）						
事業の効果等 <自動車や歩行者への影響> ・渋滞対策：県内における渋滞損失時間が高い区間の渋滞緩和が見込まれる。 （名古屋高速による環状内の混雑時通過時間が約50分⇒約25分に半減） （並行する国道302号の最大渋滞長1,250m） ・事故対策：県内における死傷事故率が高い区間の事故の減少が見込まれる。 （愛知県の交通事故死者数は、4年連続全国ワースト1位） （名古屋市内の幹線道路における死傷事故率は全国平均の約2倍） <社会全体への影響> ・災害：ゼロメートル地帯における浸水発生時に緊急輸送道路として活用できる。 ・環境：環状全通により、二酸化炭素排出量が約45万t/年削減が見込まれる。 ・地域社会：スーパー中枢港湾に指定されている名古屋港や中部国際空港へのアクセスが向上する。						

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・平成21年5月に整備計画について、愛知県知事、名古屋市長の同意を得ている。
- ・当地域が産業技術の中核圏域として国際競争力を維持・強化し、更に発展していくためには、スーパー中枢港湾である名古屋港や、国際拠点空港である中部国際空港と連携し、陸・海・空一体となった総合的な交通体系を構築することが不可欠であるとして、愛知県知事、名古屋市長、飛島村長、大治町長、甚目寺町長、大府市長、東海市長、春日井市長、清須市長、春日町長から整備促進に関する要望（平成20年7月15日）を受けている。
- ・名古屋環状2号線（西南部・南部）については、三大都市圏の環状道路の一つに位置づけられており、スーパー中枢港湾である名古屋港への広域的なアクセス道路であるため、早期に整備計画に格上げし、事業着手を図るよう愛知県知事、名古屋市長、名古屋港管理組合管理者、名古屋商工会議所会頭、(社)中部経済連合会会長、中部国際空港株式会社代表取締役社長から整備促進要望（平成20年11月）を受けている。
- ・名古屋環状2号線（西南部・南部）は、名古屋港と背後地域を結ぶ広域的なアクセス道路となることから、専用部について、早期に整備計画区間へ格上げし、事業着手を図るよう名古屋海運協会会長、名古屋港運協会会長、東海倉庫協会会長、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会会長、(社)愛知県トラック協会会長から要望（平成20年11月）を受けている。
- ・名古屋環状2号線は、名古屋市の周辺10km圏の外周部を連絡する環状道路。当地域が、産業技術の中核圏域として国際競争力を維持・強化していくためには、スーパー中枢港湾である名古屋港や国際拠点空港である中部国際空港と連絡し、より一層のスピード感を持って、陸・海・空一体となった総合的な交通体系を構築することが不可欠として、愛知県知事、名古屋市長、名古屋港管理組合管理者、名古屋商工会議所会頭、(社)中部経済連合会会長から早期に整備計画に格上げし、事業着手を図るよう要望（平成21年2月20日）を受けている。
- ・名古屋環状2号線西南部・南部区間（専用部）の早期整備計画決定・事業化について、名古屋市長から要望（平成21年4月8日）を受けている。
- ・名古屋環状2号線西南部・南部区間（専用部）の早期整備計画決定・事業化について、愛知県知事から要望（平成21年4月10日）を受けている。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。